「日本社会関連会計学会」会則

(名 称)

1) 本会は、日本社会関連会計学会と称する。

(目 的)

2) 本会は、会計学とくに社会関連会計の研究と、その研究にたずさわる者の連絡および懇親 をはかることを目的とする。

(事業)

- 3) 本会は、前条の目的を達成するため、つぎの事業を行う。
 - (1) 年1回の会員総会の開催
 - (2) 年1回以上の研究発表会の開催
 - (3) 年1回の研究に関する刊行物の発行
 - (4) その他本会の目的を達成するため適当と認められる事業 (会員)
- 4) 大学その他において会計学の研究にたずさわる者およびそれに準ずる者は、理事会の承認 をへて、本会の会員となることができる。

(会 費)

5) 会員は、毎年5月末日までに会費を納入しなければならない。 会費の金額は、会員総会の承認をへて決定するものとする。 (役員)

- 6) 本会につぎの役員をおく。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 理事 若干名
 - (3) 監事 2名、幹事 2名、その他(顧問など) (役員の任期)
- 7)役員の任期は、2年とする。なお、再任はさまたげない。
 (その他)
- 8) その他細則は、理事会で別に定め、会員総会の議をへて行う。 (会則の変更)
- 9)会則の変更は、会員総会の承認をへて行う。

(附 則)

- 1 この会則は、昭和63年9月より実施する。
- 2 理事の構成は、関東側4名、関西側4名とする。

- 3 会費は、年額3,000円とする。
- 4 本会の事務局は、大阪市立大学商学部内におく。

「学会」への名称変更により、いっそうの研究活動・健康活動をはから

エキ、智慧の間は任意団体とするが、後は、登録団体へと終りする。

and the superior of the superi

- ARRAND

A LC BA

Cliff in Paris

现立的评点 古草原中 颇颇不木。 医 用下。

人名人也。 超大粉种种 文英的生 三新田蘭 **

事990家y-中。

覧等 族園 透 **早失仕健司

為別離關" 共原国的 事件

DIM: UI

「学会申合せ事項」(学会役員その他)

1)趣旨

「学会」への名称変更により、いっそうの研究活動・親睦活動をはかる。 なお、当分の間は任意団体とするが、後日、登録団体へと努力する。

2) 英文名

The Japan Corporate Social Accounting & Reporting Association (J C S A & R A)

3)役員その他

会長 青木 脩

理事 (関東側)

* 小川 冽 * 木下照嶽 中原章吉 真船洋之助

(関西側)

*飯田修三 上領英之 野村健太郎 *山上達人

* 印…常任理事

監事 飯岡 透 *早矢仕健司

幹事 向山敦夫 *國部克彦

* 印…常任

4) 学会事業

学会創立記念事業として、「企業情報ディスクロージャー事典―社会関連会計の指針―」 (中央経済社)を出版する。なお、学会編の「論文集」を遂次、刊行する予定である。

学 会 行 事

⊯ たっ 熟田津に 船乗りせぬと

月待てば

潮もかないぬ

今は

漕ぎ出でな

(萬葉集 巻1-8)

日本社会関連会計学会の第2回大会は、「にぎたつ会館」(松山市)で、日本会計研究学会 につづいて、下記のように、会員のほぼ全員が出席のうえ、盛大に行われた。

各報告は、この学会の門出にふさわしく、時代の先端をいくグローバルな視点からの報告で、 会員間の活発な討議が行われ、盛会裡に終了した。主な内容はつぎのようである。

(1) 懇親会

1989年 5 月29日(月) 「田舎料理・末廣」

松山市三条町1丁目7-8

☎ 0 8 9 9 - 4 6 - 3 3 0 1

(2) 総会・研究報告

1989年·5月30日(火)

「にぎたつ会館」

松山市道後姫塚118-2

☎0899-41-3939

9:30~10:30 総会

10:30~11:30 研究報告(司会•木下照嶽氏)

真船洋之助氏「多国籍企業の社会成果」

11:30~12:30 研究報告(司会・梶浦昭友氏)

日野和則氏「フランスの企業情報開示について」

12:30~13:30 昼食・解散

なお、総会その他の設営などについては、向山敦夫氏(愛媛大学)の尽力を得た。

Research in Corporate Social Accounting and Reporting

Volume 2,	September, 1990
Artic	es
Corporate Social Performance of Multinat	ional Corporations
	·····Yonosuke Mafune 3
	(Nihon University)
Value Added Productivity and Management Structure	
·······	······Hiroaki Satake 11
	(Osaka Prefecture University)
Accounting System and Value Added Statement in Australia	
	······Tadashi Kanai 21
	(Soka Women's Junior College)
Local Public Enterprise and Value Added Accounting	
	Ichiro Mizuno 33
	(Kagoshima University)
The Development of Corporate Social Information in France	
	······Kazunori Hino 45
	(Aichi University of Education)

Published by

The Japan Corporate Social Accounting and Reporting Association

Osaka City University
Faculty of Business
3-3-138 Sugimoto, Sumiyoshi-ku
Osaka, 558 Japan

「社会関連会計研究」第2号

1990年 9月 発行

編 集 日本社会関連会計学会

事務局 大阪市住吉区杉本 3 - 3 - 138

〒588 大阪市立大学商学部内 山上達人•國部克彦研究室

☎ 0 6 — 6 0 5 — 2236 • 2237

印刷所 〒630 奈良市南半田中町19・20

関西印刷株式会社

☎ 0 7 4 2 - 2 6 -2431 • 2433

